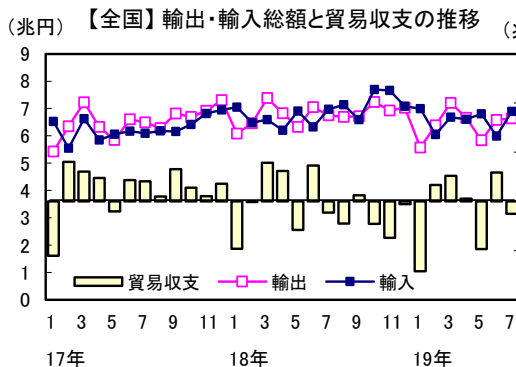
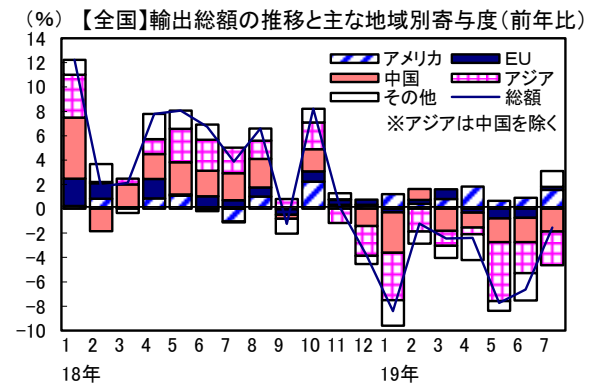
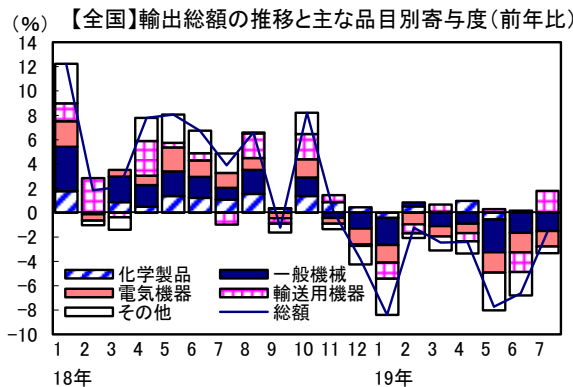
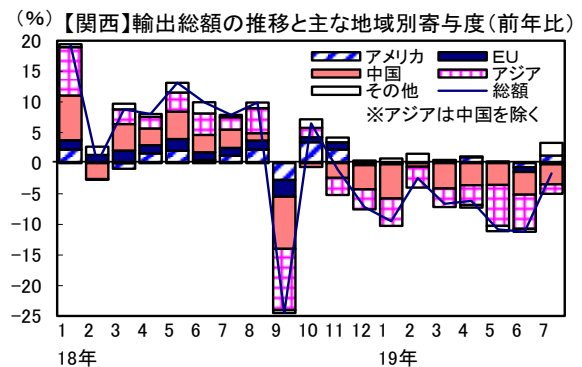
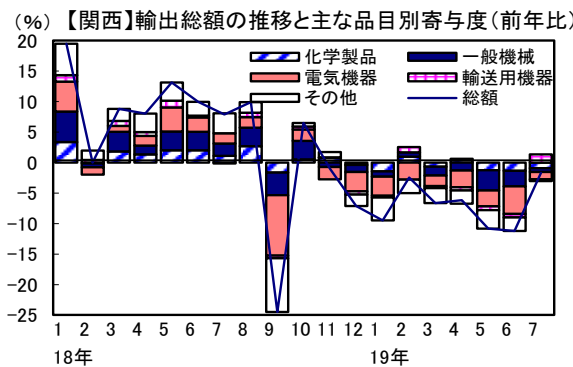
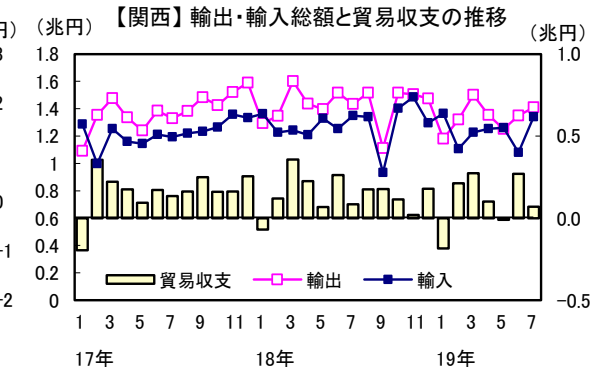


関西の景気トピックス【貿易統計（19年7月）】

- 19年7月の貿易統計（大阪税関発表）によると、近畿の輸出額は前年比マイナス1.7%と9か月連続の減少となった。輸入額もマイナス0.6%と3か月連続で減少している。貿易収支は688億円の黒字で、黒字は2か月連続。
- 地域別の輸出動向をみると、今月も中国およびアジア向けの減少が中心となっている。品目別には、電子部品などの「電気機器」や、原動機などの「一般機械」の減少幅が縮小したものの、米中貿易摩擦に加え、日韓問題が新たに発生したこともあり、今後の輸出の推移には注意が必要とみられる。



※輸出、輸入総額は左メモリ、貿易収支は右メモリ



※輸出、輸入総額は左メモリ、貿易収支は右メモリ

※近畿の貿易統計に関する詳細は大阪税関HPにてご確認ください。